

2025～2026 年度クラブ運営方針  
「一揆一揆で親睦を深めよう」

国際ロータリー第 2750 地区 多摩中グループ

# 東京昭島中央ロータリークラブ

TOKYO AKISHIMA-CHUO ROTARY CLUB

2025 年（令和 7 年）11 月 12 日（水）  
第 1702 回例会報告

事務局 〒196-0034 東京都昭島市玉川町 3-10-1 ヒルパークハイツ 1F TEL 042-544-1001 FAX 042-544-1002

よいことのために  
手を取りあおう



## ●本日の司会 (神野 次郎 SAA)



## ●開会点鐘 (岩本 勝宏会長)

## ●国歌・ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

## ●本日のお客様

東京立川ロータリークラブ 木村 辰幸様

昭島商工会青年部 部長 米元 貴也様

昭島市社会福祉協議会 安倍 弘行様

昭島市社会福祉協議会 清水 崇史様

## ●昭島市社会福祉協議会より感謝状



※安倍事務局長から、日頃のご支援へのお礼と、医療用防護服の寄贈についてご報告がありました。寄贈した防護服は、保育園や介護事業所など多くの施設から希望があり、とても助かったとの声が寄せられたそうです。

※同じく防護服寄贈に関して、武蔵村山市社会福祉協議会から届いた感謝状を、岩本会長が代読しました。

## ●会務報告 (岩本 勝宏会長)



本日、例会前に指名委員会が開催されました。もう早いもので志賀年度の活動が始まろうとしています。今年度もあっという間に、4ヶ月と少し経ってしまいました。あと7ヶ月程なのですが、これからも皆様と楽しく過ごしたいと思っています。

先日、クラブ協議会を開催し、年会費に関するアンケートを取らせていただきました。本日が締め切りとなっておりますが、その結果を共有させていただきます。

### 〈会費に関する回答〉

現状維持	…… 4名
最小限の改定	…… 5名
値下げ	…… 1名
将来の安定性を見据えた改定	…… 8名

会費の金額については、「3万円～3万5千円くらいが妥当」という意見が多かったです。未提出の方は、本日中午に提出をお願いします。

理事会にて、40周年記念式典の実行委員長を志賀会長エレクトが務めることが決まりました。

## ●幹事報告 (柴田 智幸幹事)



11月10日（月）親睦委員会の炉辺会議が、クリスマス例会会場の下見を兼ね、福生の幸楽園で開催されました。

11月11日（火）クラブ代表者会議に、志賀会長エレクトが代理として出席されました。田畑年度の1人100ドル寄付達成により、地区よりバナーが贈呈されました。

同日夜、多摩中グループ協議会がホテルエミシア東京立川にて開催され、岩本会長と私で参加をさせていただきました。

東京立川こぶしロータリークラブより「創立 40 周年記念式典」のご案内が届いております。令和 8 年 2 月 17 日（火）に開催、記念講演は橋本徹氏です。会場の都合で、各クラブ 10 名程度の参加を依頼されております。後日詳細な案内を配信予定です。

11 月 23 日（日）・24 日（月）昭島市産業まつりが開催予定です。当クラブも協賛をしておりますので、お時間のあられる方は、ぜひ足を運んでください。

## ●卓話「青年部で変わった人生」

米元 貴也様

### 講師紹介（相葉 吉春会員）



本日は、昭島商工会青年部の部長を務めておられる米元様にお越しいただきました。

「くじら祭」では、私たちロータリークラブと商工会青年部が同じ想いで祭りを盛り上げており、いわば“仲間”のような関係です。その青年部をまとめるトッ

プとして活躍されています。

今日は、これまでのご経験、ご自身のこと、そして青年部として地域にどのような想いを持って活動されているのかなどをお話しいただきます。私たちの活動と重なる部分も多いと思いますので、自分たちのこととして聞いていただければと思います。

### 卓話



本日はお招きいただき、誠にありがとうございます。また、「くじら祭夢花火」の運営では、毎年温かいご支援・ご協賛を賜り、重ねて御礼申し上げます。星野初代会長をはじめ、皆様には日頃から大変お世話になっております。

まず簡単に自己紹介をさせていただきます。私は杉並区西荻で生まれ、高円寺で育ちました。その後、日野市などを経て、2011 年に昭島へ移り住みました。今年で昭島に来て 15 年目になります。現在はソニー生命で保険営業として働いていますが、前職は写真店で、七五三や成人式、結婚式の撮影などまったく異なる仕事をしていました。

私が転職を決めた背景には、幼少期の家庭の経験があります。父はアクセサリー職人で、指輪やネックレス、イヤリングなどをデザイン・加工し、卸す仕事をしていました。バブル期には月収 100 万円以上を稼ぐこともありましたが、バブル崩壊と輸入品の流入により収入は急激に落ち込みました。ある月は 10 万円、時には 5 万円しか入らず、家賃も払えずに引っ越しを繰り返したこともあります。給料日まで手元に 1000 円しかないこともありました。こうした経験から、「お金の苦労をしない人生を築くこと」の大切さを強く感じました。

ソニー生命では保険営業のほか、ライフプランニングに力を入れています。お客様や企業に対して、健康寿命・人生の寿命・資産の寿命をいかに伸ばすか、長期的に考える仕事です。幼少期の経験を活かし、少しでも世の中の役に立ちたいという思いで 36 歳で転職しました。金融面か

ら地域や人々の人生を支えることに、日々やりがいを感じています。

私が商工会青年部に入部したのは、2021 年 10 月です。それまで、昭島に住んで 10 年近く経っていたにもかかわらず、市のことをほとんど知りませんでした。共働きの昼間は都内で働いており、家で過ごすのは夜だけという生活でした。「くじら祭」のことも、商工会の存在もよく知りませんでした。2017 年に保険の仕事に転職した当初は、休みなく忙しく働き、地域活動に関わる余裕はありませんでした。

しかし、コロナ禍で業務が一時停止し、徐々に時間的・気持ち的余裕が生まれた頃、郵便ポストの市報を見て「自分は昭島を知らなすぎる」と痛感しました。「せっかく住んでいる昭島のことをもっと知りたい」「地域に何か恩返しができないか」と考え、青年部に興味を持ちました。私は以前から、児童養護施設の子もたちをプールや水族館、ラウンドワンに招待するなどのボランティア活動をしてきました。こうした活動が好きで、「地域に少しでも貢献したい」という思いが芽生えたのです。たまたま自宅から歩いて 10 分ほどのところに商工会館があることを知り、話を聞きに行きました。「今なら米元さんの年齢でも青年部に入れます」と紹介され、当時の部長とも話して、「ここで何かできるかもしれない」と入部を決めました。ただ、2021 年 10 月の入部当時はコロナ禍でほとんど活動ができず、翌 2022 年も定例会はリモート中心で、「くじら祭」を含む事業の多くが中止されました。

2023 年に事業が再開されましたが、ここで課題がありました。コロナでの空白期間に、「くじら祭」や産業祭りを経験していた先輩方がほとんど引退しており、現役部員は未経験のメンバーばかり。手探りの中で「なんとか夢花火を成功させよう」と準備しました。協賛金も一円でも多く集め、花火の本数を減らさずに打ち上げるために奔走しました。花火当日の警備は特に印象深い経験でした。青年部は警戒区域の警備を担当します。夜 8 時、花火が上がった瞬間、目の前で見える大輪の花火に圧倒され、胸が熱くなり、仲間と空を見上げながら自然に涙がこぼれました。40 歳を過ぎて、地域のために汗を流し、仲間と共に花火を見て涙する、一こんな体験ができるとは思っていませんでした。あの瞬間、「青年部に入って本当によかった」と心から感じました。

2024 年度に入り、これまで中断していた事業も本格的に再開されています。その一つが視察研修です。今年は部員 15 名で八丈島を訪れました。私が入部した当初は定例会の参加が 3 名ほどだったことを思うと、25 名に拡大した仲間と視察に行けたことは大変うれしく、感慨深いものでした。

視察で得た学びは二つあります。一つ目は「地域資源の生かし方」です。八丈島の青年部は、限られた資源をどのように産業や商いにつなげるか真摯に取り組んでいました。「昭島には水しかない」と冗談交じりに言われることがありますが、実際にはもっと多くの魅力があり、我々自身がその価値を掘り起こし、内外に発信する必要があると痛感しました。

二つ目は「地域の歴史を知ることの重要性」です。視察では OB の方が島内の歴史や流刑地としての背景、戦時中の防衛ラインの痕跡などを丁寧に解説してくださいました。「我々も昭島の歴史をもっと知らなければならぬ」と強く感じました。知ることで発信できることが増えるという学びは、青年部活動において非常に重要な視点です。

こうした学びを踏まえ、青年部では新しく二つの事業に取り組んでいます。昭島の歴史を題材にした「クジラ検

定」の創設と、多摩川やアウトドアビレッジを活かした「キャンプ×まちおこし」事業です。どちらもゼロからの挑戦ですが、地域の新たな魅力づくりにつなげていきたいと考えています。部員一人ひとりがアイデアを出し合い、協力しながら形にしていくプロセス自体が、大変貴重な経験です。

最後に、来年の「くじら祭夢花火」についてお願いがあります。花火の費用は年々増加し、現在 2,000 発で約 850 万円、15 年前の約 2.5 倍になっています。お隣の武蔵村山市では西暦の数だけ花火を打ち上げており、昭島としても来年は 2027 発を目指します。皆様には改めてご協賛をお願いすることになりますが、温かいご支援を賜れば幸いです。

### 謝辞（志賀 義任会長エレクト）

米元様、本日は貴重なお話をありがとうございました。昭島市のためにさまざまなご尽力をされていることを、改めて確認いたしました。

当クラブも「くじら祭」をはじめ、来年も引き続き応援してまいりますので、ぜひ一緒に盛り上げていきましょう。夢花火につきましても協賛をしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



### ニコニコ BOX

（中村 重昭親睦委員）



◎岩本会長  
東京立川 RC 木村辰幸様、ご来訪ありがとうございます。昭島市商工会青年部部会長米元貴也様、卓話よろしくお願いいたします。

◎内藤会員  
宜しく

◎柴田幹事  
米元部会長様、本日の卓話ありがとうございました。

◎志賀会員  
例会前の忙しい時間に指名委員の皆様ありがとうございました。

◎成田会員  
新車契約したのでニコニコします。

### 出席報告

（太田 剛出席委員）



会員数	51名
出席義務会員	51名
本日の出席	33名

### 委員会報告

（志賀 義任会員）



皆様、改めましてこんばんは。先ほど岩本会長より、私がクラブ創立 40 周年事業を実行委員長として務める旨、理事会で決定したことが報告されました。前回の理事会にて満場一致でご承認をいただきました。まだ私は会長職を務めておりませんが、次年度会長を務め、その翌年が 40 周年となります。来年の会長職、そして 40 周年事業、そのどちらも精一杯努めてまいりますので、皆さまのご協力を何卒よろしくお願いいたします。

### 次週例会予定（相羽 吉春プログラム副委員長）



11月26日（水）  
卓話「小学校の現状と課題」  
昭島市立つつじヶ丘小学校  
校長 大友 基裕様

### 閉会点鐘

（岩本 勝宏会長）